

願書や必要書類の作成のお願い

受検生の皆さんへ

1. 新入学・転入学・編入学・転籍ともに、入学願書については、本人が自筆で記入してください。
2. 転入学・転籍生の書類は全て在籍高等学校から本校宛てに送付されます。皆さんが直接送付することはありません。入学願書、その他この要項に含まれている書類は、必要事項の記入が終わったら在籍している高等学校の担任の先生へ渡してください。
3. 新入学・編入学の受検生は、個人で出願します。「出願用封筒」に必要書類を入れ、本校へ提出してください。郵送の場合は「簡易書留」ですので、ポストに投函せず郵便局の窓口に出提出してください。

中学校の先生方へ

1. 中学校の調査書は、宮崎県立高等学校入学者選抜実施細目において、「様式2」として定めているものです。この募集要項中には同封しておりませんので、各校で作成をお願いします。なお、卒業生などで現在のものと異なる様式に記入されている場合は、発行年月日、記載責任者、校長名、卒業・卒業見込みの別などを書き換えたもので構いません。また、県外の中学校で宮崎県と様式が異なる場合は、各県の様式で結構です。
2. 調査書は、パソコン等で作成したものを提出しても構いません。

高等学校の先生方へ

1. 転学照会(様式3)、転学理由書(様式4)、成績・単位修得証明書(様式5)については、募集要項の巻末にある所定の用紙で作成してください。
2. 単位修得証明書の記入については、記入要領(p.18~20)をよくご確認の上、慎重にご記入ください。
3. 成績・単位修得証明書を「見込み」で作成・発行したのち、確定した修得単位等が「見込み」と異なった場合は、早急に本校まで連絡ください。
4. 転学照会の転学許可日については、前期は「4月1日付け」、後期は「10月1日付け」になります。指導要録の転出記録について、記入漏れがないようにお願いします。
5. p.17に補足事項がありますのでご覧ください。

※ 調査書以外の様式は、本校 Web サイトからダウンロードできます。ご利用ください。

※ 通信制トップページ <https://cms.miyazaki-c.ed.jp/6049/htdocs/>

通信制課程について Q&A

通信制の仕組みについて

Q1:通信制課程の学習はどのようにするのでしょうか？

A1: 原則として教科書と学習書(通信制の生徒向けに編集された教科書準拠の参考書)を調べながら、レポートを完成させる「自学自習」が中心です。



Q2:レポートは何回くらい提出するのですか？

A2: 登録した科目によってレポートの回数は異なりますが、ほとんどの科目は学期に6回のレポートを提出します。前期を例に挙げれば、5月上旬から提出が始まって、7月末には第6回が締め切られます。その間2週間毎に「締め切り」(提出期限)がやってきます。提出期限に遅れると単位が取れなくなりますので、期限厳守です。

Q3:スクーリングはどこで受ければよいのですか？またどのくらい行われていますか？

A3: 本校及び高千穂高校、富島高校、高鍋農業高校の3つの協力校でスクーリングを実施しています。どの地区のスクーリングに参加しても出席は認められます。日曜スクーリングは2校同時開催となっています。各校とも半期で7日、年間14日が行われることになります。なお、月曜スクーリング(本校のみ)は半期で9日、年間18日です。

Q4:スクーリングには必ず登校しなければなりませんか？

A4: 科目ごとに最低出席しなければならない時間数(最低面接時数)が決められています。スクーリングでは、選択した科目の最低面接時数以上の出席が必要です。最低面接時数を満たした科目については、登校の必要はありません。例えば、家庭総合の最低面接時数は各学期4時間です。スクーリングでの授業の開催回数も多くはなく、学期に6時間分(2時間連続実施を3日)しか設けられていません。1回目を欠席した場合は、2回目に出席しなければ出席不足となり単位が取れなくなります。

なお、他の協力校や本校に出席して補うことも可能ですが、貴重なスクーリングの機会ですので計画的に出席しましょう。国語や地歴・公民、数学などは最低面接時数が少ない教科ですが、体育や英語、理科など、最低面接時数が半期8～10時間に設定されている教科もあります。

Q5:スクーリングはどのような時間割で行われていますか？

A5: 1日50分×7コマ(7時限)の時間割で実施されます。スクーリング校ごとに、前期7日間、後期7日間分の時間割が全て決まっていますので、学期の始めに時間割を見て、学期の出席計画を立てる必要があります。

Q6:日曜日のスクーリングが仕事で受けられないのですか？

A6: 本校のみとなりますが、月曜日にも本校スクーリングを開催しています。月曜日の時間割だけでも単位が取れるようになっています。しかし、学校行事等は、日曜日に行われることが多いので、行事に参加したい場合は、前もって仕事の都合を付けておいてください。

Q7:テストはありますか？

A7: 学期末(8月末から9月上旬と1月末から2月上旬)に前期テスト、後期テストが実施されます。レポートを全て提出し合格した人で、最低面接時間数以上のスクーリングに出席した人だけがテストを受験することができます。テストに合格して初めて単位が認定されます。30点未満の人は再テストを受験し合格しないと単位が認定されません。

単位について

Q8:単位制とはどんな仕組みですか？

A8: 学年制高校は、学年毎に修得すべき科目や単位数が定められており、第1学年の課程の修了が認定されないと第2学年に進めない仕組みになっています。単位制高校には厳密な意味での学年はありません。(その学年で修得すべき科目を定めていません。)そのため修得できなかった科目があった場合、その科目だけをもう一度履修して修得すればよいことになります。学年制に比べて「やり直し」のしやすい仕組みです。

Q9:単位はどのように修得すればよいのですか？

A9: レポートを全て提出し合格し、最低面接時数以上のスクーリングに出席するとテストを受験することができます。テストに合格すると、その科目の単位が認定され修得できます。

Q10:分割認定制とは何ですか？

A10: 例えば4単位の「家庭総合」を、前期2単位、後期2単位に分割して各学期の区分で単位認定を行う仕組みです。前期分の単位が取れなくても、後期分の2単位だけは修得できます。修得できなかった前期2単位分については再履修になりますが、修得した後期分はその必要がありません。

Q11:以前通っていた高校の単位はどうなりますか？

A11: ほとんど全ての単位が、本校を卒業するのに必要な単位として認められます。



卒業について

Q12:卒業する最低条件は何ですか？

A12: 以下の通りです。

- ① 高等学校に通算3年以上在籍。必修科目を全て含む74単位以上の単位の修得が必要。
- ② 特別活動(学校行事やホームルーム活動)の規定時間数を全て満たすことが必要。

Q13:卒業時期はいつになりますか？

A13: 新入学生については、入学してから最短で3年後です。転入学生や編入学生は以前の学校に在籍した期間やその学校のカリキュラム、修得した科目や単位数によって異なります。単に累積で3年在籍して、74単位を修得すれば良いわけではありません。特に後期入学などの場合は、判断も説明も非常に複雑になりますので、修得単位がわかる書類(単位修得証明書、通知票、教育課程表など)を持って、直接来校して相談してください。

Q14:卒業後の進路はどうなっていますか？

A14: 近年、前期と後期を合わせて100名を超える生徒が卒業していますが、20%を超える生徒が大学、短大、専門学校へ進学しています。4年制大学への進学希望者も増えています。なお、進学希望者には本校で「進学支援学習会」を開講しています。また、ハローワークと協力して、就職にも力を入れています。

学校生活について

Q15:クラスはどうなっていますか？

A15: スクーリング実施校(本校及び協力校)ごとに、1年次クラス(修得単位数が0~13)、2年次クラス(修得単位数が14~43)、3年次クラス(修得単位数が44以上:卒業可能クラス)にクラス分けしています。クラス担任の先生もいます。ただし、1年次の新入学生を除き、ほとんどの生徒は選択している科目がバラバラです。その科目の授業を選択している生徒が授業の教室へ移動することになり、クラスでまとまって行動する機会は少ないです。3年次生と1年次生と一緒に授業を受けたりしますので、厳密な意味でのクラスではなく便宜的なものと考えてください。

Q16:主な学校行事を教えてください。

A16: 入学式(4月、10月)、校内生活体験発表大会(7月)、県定通体育大会(6月)、進路ガイダンス(6月、11月)、県生活体験発表大会及び文化の集い(10月)、スポーツフェスタ(10月)、卒業式(9月、3月)等があります。

Q17:部活動はありますか？

A17: 年間を通じて常時活動している部活動はありませんが、定通体育大会前に希望者を集めて練習しています。県定通体育大会で優勝し、全国大会にも出場しています。バスケットボール等が活動しています。

Q18:学校からの連絡などはどうに行われるのですか？

A18: 毎月1回、通信教育用の機関紙『通教 延岡青朋』が学校から送付されてきます。ほとんどの連絡はこれで行われますので必ず目を通してください。また、緊急の連絡はホームページでも行います。

Q19:校則はありますか？

A19: 他の高校と同様に、特別指導や懲戒も踏まえた校則があります。
学習手帳の生徒必携ページに記載してあります。

Q20:生徒の下校時刻は何時ですか？

A20: 17:00までに、校門を出ることになります。迎えに来てもらう場合も同じです。

Q21:服装について決まりはありますか？

A21: 他人を不快にさせたり、威圧、威嚇するような服装や華美な服装はしないでください。
(間接的にセクハラになるような服装もダメです。)

Q22:バイク・自動車での登下校はできますか？

A22: 法定年齢に達し、免許取得ができていれば可能ですが、大きな音が出るなどの改造車両での登下校は禁止です。騒音などの迷惑行為、交通法規・公共マナーを守らない場合は、特別指導になります。

Q23:成人者の喫煙はできますか？

A23: 敷地内の喫煙は、健康増進法に基づき全面禁止です。

Q24:停学や退学になることは、ありますか？

A24: 他の高校と同様あります。

費用や奨学制度など

Q25:1年間にかかる費用はどれくらいですか？

A25: 学校に納入する経費(教科書代、校納金など)は、登録する科目や単位数によって異なりますが、多くても年間40,000円程度です。その他、レポート送付のための切手代(年間1,000円程度)や、行事での参加費や入場料等(1回数百円から千円程度)が必要です。

Q26:奨学金などの仕組みがありますか？

A26: 日本学生支援機構(旧 日本育英会)、宮崎県育英資金などの一般的な奨学制度があります。これらとは別に、定時制・通信制の生徒のための「修学奨励資金貸与制度」があります。これは「貸与」が原則ですが、卒業すると返還が免除されます。また、教科書代(通信制の学習書代を含む)については、就労日数や修得単位数の条件がありますが、働いている人は、申請によって補助金が給付される「教科書購入補助金申請制度」等があります。

Q27:協力校だけでのスクーリングで卒業できますか？

A27: 可能です。ただし、協力校に限らず本校でも、スクーリング時間数は余裕があるわけではありません。スクーリングを休むと、本校や他の協力校のスクーリング、または月曜スクーリングに出席しなければならなくなることがあります。

出願等に関して

Q28:6月や7月に転入学できますか？

A28: 学期の途中での転入学はできません。転入学・編入学・転籍は4月か10月、新入学は4月のみ入学できます。

Q29:本校の定時制課程や、宮崎東高校通信制課程と併願することができますか？

A29: 新入学の場合、本校定時制と通信制とでは入試日程が異なります。定時制の結果を見て通信制に出願ができます。また、転入学と編入学検査については、本校定時制と併願することが可能です。ただし、定時制と通信制とで、学ぶスタイルが異なりますので慎重に判断してください。自分のライフスタイルや計画に合わせてどちらかを選ぶことを勧めます。宮崎東高校通信制課程とは、新入学・転入学・編入学検査について、いずれも併願できません。スクーリングを受ける場所などをよく検討して選んでください。

Q30:入学後、本校の定時制課程へ変わることはできますか？

A30: 通信制で1年以上活動し、修得単位が10単位以上となると『転籍』が可能です。ただし、定時制の転入学試験(学科試験あり)を受検し合格しなければなりません。

学習に関して

Q31: 高校を退学して長いこと勉強していませんが、大丈夫でしょうか？

A31: レポートは教科書と学習書を見ながら勉強すればよいので、70%から80%は調べれば解くことができます。ただし、自分で考えなければならない問題もありますので、分からないことは、スクーリング時に先生に聞いてください。

Q32: どのくらいの生徒が単位を取っていくのでしょうか？

A32: 科目によってまた年次によって修得率がずいぶん異なります。平均すると50%強が単位を修得しています。単位が修得できない主な原因は、レポートの提出期日を守れない、レポートを提出できない、スクーリングの出席が不足する、の3つです。

その他

Q33: 成人者はどのくらいいますか？

A33: 在校生のうち、20歳以上は30%程です。30歳以上も5%程在籍しています。

Q34: 仕事をしている人はどのくらいいますか？

A34: 定期的な仕事に従事している人は約30%です。本校では、アルバイトを禁止したり制限したりしていませんが、18才未満だとアルバイトの職種が限られるようです。進路指導室やハローワーク等で求人の情報も手に入ります。

転編入学の補足事項（高等学校等の先生向け）

このページから P20 までは、受検生は読む必要はありません。

1. 出願のとりまとめについて

同じ学校に複数の受検生がいる場合は、可能な限りとりまとめをお願いします。募集要項（願書及び全ての書類を含む。）は、本校宛に請求いただくか本校通信制Webサイトからダウンロードできます。

2. 成績・単位修得証明書について（転入学・編入学）

入試業務の都合上、様式を指定していますので、本校指定様式で作成してください。

本校通信制課程では、次年度履修させる科目を個人ごとに決めていきます。特に 3 年次への転編入学生は、卒業が可能となるような受講指導をしておく必要があります。「成績・単位修得証明書」の記載事項の誤りがあれば、場合によっては該当生徒の卒業が延期になるケースがありますので、くれぐれも正確な記入と点検をお願いします。（この後に掲載しております記入要領をご参照ください。）

なお、「見込み」で提出されたのち、確定した修得単位数等が「見込み」と異なる場合は、早急に電話か FAX で連絡をしてください。

〔 記入間違いの例 〕

- ① 修得単位の計が合わない。LHRが計に含まれている。
- ② 修得した科目がC表（カリキュラム）にない。または、C表の単位数と修得した単位数が合わない。
- ③ I を履修せずにⅡが修得となっている。
- ④ 旧課程の科目名で書かれている。

3. 入学後の転学書類の送付に関して（転入学）

転学の回答文書に指示された日（前期は 4 月上旬、後期は 10 月上旬）までに以下の書類を各校で取りまとめいただいた上、送付してください。

① 生徒指導要録の写し

※校長の原本証明が無いものは無効です。

※片面印刷でも構いません。コピーしたものに 4 面とも原本証明をつけてください。

※出願時に提出した「成績・単位修得証明書」と記載内容が異なっている場合があります。

異なっている場合は、確認をします。場合によっては再送付を依頼します。

② 健康診断個人票・歯科検診票（原本又は写し）

●宮崎県育英資金奨学生は、以下を教育庁財務福利課育英資金室育英資金担当宛へ提出してください。

① 転学用奨学金報告書

② 転学奨学金継続願

財務福利課が継続を可とした場合、同課より本校宛に転学用奨学金報告書が送付され、本校奨学金担当が処理をして財務福利課へ返送します。詳細は、宮崎県育英資金の奨学生の手引き書をご覧ください。

成績・単位修得証明書記入要領

本校通信制課程では、提出された単位修得証明書に基づき、転編入学生の卒業に必要な科目を受講させる指導を行います。記載内容に間違いがある場合は、該当生徒の卒業が延期される場合もあります。職印の押された公文書でありますので、生徒指導要録の内容と充分確認の上、記入・作成をお願いします。間違いがある場合、本校では訂正ができませんので、再度提出していただくことになります。

※ 単位修得証明書の作成に当たっては、ご面倒ですが本校の指定様式で作成をお願いします。

※ 単位修得証明書の入力フォーム(エクセル形式)を本校ホームページから配布しています。

1. 年齢

前期は本年4月1日現在、後期は本年10月1日現在で記入してください。

2. 入学区分・学年

「新入学」「転入学」「編入学」を選択して、「学年」を記入してください。

3. 在籍状況

在学中の生徒:「在学中」の欄に○をつけ、「学年」を記入してください。

退学した生徒:「退学」の欄に○をつけ、退学した日付を記入してください。

4. 年度・学年

●原級留置となった場合

4 年度	5 年度	6 年度
1 年	2 年	2 年

単位制高等学校で学年の区分が無い学校の場合は、学年の記入は不要です。

5. 科目名・観点別・評定・単位数

修得した科目と単位数が記載・集計されていれば問題ありません。

- ・ 全く単位修得がない(見込めない)年度は、年度と小計欄の0だけ記入してください。
- ・ 単位修得が見込めない科目(評定1となった科目)の科目名・評定・単位数は、記入しないでください。
- ・ 本校通信制では履修と修得の区別をしておりません。履修のみ認定となった科目につきましても記入しないでください。その他は以下の例を参考にして記入してください。

<令和4年度以降の入学生>

科目名	5年度			6年度		
	1 年			2 年		
	観点別	評定	単位	観点別	評定	単位
公共				AAB	4	2
数学 I	ABA BBB	4/3	2/2			

学期区分で単位を認定している場合は、／で区切ってください。

その年度に、認定した単位があればご記入ください。原級留置となった場合でも、認定できる単位は記入してください。

<令和3年度以前の入学生>

科目名	3年度			4年度		
	1 年			2 年		
	観点別	評定	単位	観点別	評定	単位
現代社会		5			5	2
数学 I		4	3			

「観点別」欄は記入しないでください。

■ 学校設定教科・科目の科目名・単位数の記入

学校設定科目の場合は、属する教科の欄に記入してください。

■ 技能審査などの外部の学修による科目名・単位数の記入

該当科目の一部の単位として認定された場合、又は全部として認定された場合のいずれの場合であっても、該当科目（対応科目）の欄に記入してください。備考欄または空行を利用して、「令和6年 技能審査（英検）による2単位」などと記入してください。評価がない場合は空欄で結構です。

科目名	5年度			6年度		
	1年			2年		
	観点別	評価	単位	観点別	評価	単位
英語コミュニケーションⅠ	AAA	5	3			2

6. 修得単位数小計・修得単位数合計

	5年度			6年度		
	1年			2年		
	観点別	評価	単位	観点別	評価	単位
修得単位小計			30			0
修得単位合計			30			単位

その年度に修得単位がない場合（後期入試）は、小計欄の「0」のみご記入ください。（手書き記入の場合）

※入力フォームでは修得単位小計・合計とも計算式が入っています。

小計・合計とも LHR は算入しないでください。

7. 総合的な探究の時間

各学校で実施している名称、単位数を記入してください。評価は不要です。

8. 備考

次のような場合はその旨を備考欄に記入してください。

① 総合的な探究の時間や情報など必修科目（の一部）を、専門科目で代替している場合。

- ・ 代替する科目を修得済みの場合 → 「情報Ⅰを○●で代替済み」
- ・ 代替する科目が修得できていない場合 → 「総合的な探究の時間を■□で代替予定」

② 高卒程度認定試験（旧大検を含む）の合格科目がある場合。

※ 貴校で単位認定されていない場合でも、本校で（転編入学前に遡って）認定が可能です。

例『令和〇年の高卒程度認定試験で世界史Bに合格。』

③ 旧課程科目（現学習指導要領以前の科目）がある場合。

④ 技能審査の成果を単位認定している場合

例『英語コミュニケーションⅠの6単位の内、2単位は令和〇年の英検2級合格による増単』

⑤ 留学の期間や留学での修得単位がある場合。

9. 見込み

出願時に修得が確定しない単位（単に成績会議が終わっていないからということではなく、生徒が成績会議後の補講等の指導の対象となっており、現時点で結果が出ていない場合など）がある場合「見込欄」に○印を記入してください。

また、該当科目の科目名の右側に○をつけてください。単位修得が確定しましたら、事前に連絡をしていただき、再度「単位修得証明書」を送付してください。

10. 学校歴及び単位修得・出席状況など

在籍していたすべての期間について年度ごとに記入してください。貴校以前に在籍した高等学校がある場合、原級留置となった年がある場合、休学期間がある場合などは、特に注意して記入してください。原級留置や休学・留学などの期間がある場合は備考欄にその旨、記入してください。

例えば原級留置となった場合は

年度	学年	学期	学 校 名	課 程	学 科	修得単位	備 考
4	1		県立●■△高校	全日 課程	普通 科	13	原級留置
5	1		// 高校	// 課程	// 科	32	
6	2		// 高校			0	11月1日より休学

※ 「学期」欄は、単位制高校などで学期毎の分割認定を行っている場合に使用します。

☆☆補足☆☆

1. 原級留置となった生徒の単位修得について

- ① 原級留置となった年度に認定可能な単位があれば、その年度の修得単位として、記入してください。
本校で卒業に必要な単位に加えます。
- ② 本校通信制課程では、前籍校で原級留置となった年度も高等学校の在籍の期間に含めます。

2. 休学中の生徒の取扱について

- ① 休学している生徒の転学の場合、本校が復学手続きを求めることはありません。
ただし、各校の内規に別途規定があることがありますので、各校の規定を確認してください。
- ② 本校通信制課程では、前籍校で休学していた期間も高等学校の在籍の期間に含めます。

3. 退学（編入学）と転学（転入学）

3月又は9月中の日付で退学するのであれば、転入学と同様な扱いになります。2月や8月に退学すると、在籍の期間が11か月や5か月となってしまいます。本校では6か月単位で在籍の取り扱いをしていますので、本校に編入学後、在籍しなければならない年数が0.5年増えることになります。

4. 編入学後の提出書類

転入学と同様に生徒指導要録の送付をお願いします。貴校で保存されている限りご協力ください。

令和7年度教育課程表

教科	科目名	本校 単 位	第1群		第2群		R回数		最低S		開講予定					
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	高千穂	本校	富島	高鍋農業	月面	
普通科目	国語	現代の国語	2	※2			6回		2h							
		言語文化	2		※2			6回		2h						
		文学国語	4			2	2	6回	6回	2h	2h					
		論理国語	4			2	2	6回	6回	2h	2h					
		古典探究	4			2	2	6回	6回	2h	2h					
		★国語入門	4	2	2			6回	6回	2h	2h					
	地歴	歴史総合	2	※2	※2			6回	6回	2h	2h					
		地理総合	2	※2	※2			6回	6回	2h	2h					
	公民	公共	※2	※2	※2			6回	6回	2h	2h					
		倫理	※2			※2		6回		2h						
		政治・経済	※2				※2		6回		2h					
	数学	数学Ⅰ	4	2	2			6回	6回	2h	2h					
		数学A	※2	※2	※2			6回	6回	2h	2h					
		数学Ⅱ	4			2	2	6回	6回	2h	2h					
		★数学入門	4	2	2			6回	6回	2h	2h					
		★数学Ⅰ応用	4			2	2	6回	6回	2h	2h					
	理科	科学と人間生活	※2	※2	※2			6回	6回	8h	8h					
		化学基礎	※2	※2	※2			6回	6回	8h	8h	後	後	前	前	
		生物基礎	※2	※2	※2			6回	6回	8h	8h					
		地学基礎	※2	※2	※2			6回	6回	8h	8h	前	前	後	後	
	保体	体育①	1	1				2回		■4h						
		体育②	1			1		2回		■4h						
		体育③	1			1		2回		■4h						
		体育④	1			1		2回		■4h						
		体育⑤	1		1				2回		■4h					
		体育⑥	1		1				2回		■4h					
		体育⑦	1				1		2回		■4h					
		体育⑧	1				1		2回		■4h					
		保健	2	1	1			3回	3回	2h	2h					
	芸術	音楽Ⅰ	2	1	1			3回	3回	4h	4h	×		×	×	×
		音楽Ⅱ	2	1	1			3回	3回	4h	4h	×		×	×	×
		美術Ⅰ	2	1	1			3回	3回	4h	4h	×		×	×	×
		美術Ⅱ	2	1	1			3回	3回	4h	4h	×		×	×	×
		書道Ⅰ	2	1	1			3回	3回	4h	4h					
		書道Ⅱ	2			1	1	3回	3回	4h	4h					
	英語	英語コミュニケーションⅠ	4	2	2			6回	6回	8h	8h					
		英語コミュニケーションⅡ	4			2	2	6回	6回	8h	8h					
		★英語入門	4	2	2			6回	6回	8h	8h					
	家庭	家庭総合	4	2	2			4回	4回	4h	4h					
	情報	情報Ⅰ	※2	※2	※2			4回	4回	4h	4h					
専門科目	家庭	★保育基礎	4	2	2			4回	4回	4h	4h					
	商業	★ビジネス・コミュニケーション	※2	※2	※2			4回	4回	4h	4h					
		★商品開発と流通	※2	※2				4回		4h						
		★ビジネス・マネジメント	※2		※2				4回		4h					
総合的な探究の時間	総合探究A	※2	※2				2回		2h							
	総合探究B	※1	※1				1回		1h							
	総合探究C	※2		※2				2回		2h						
	総合探究D	※1		※1				1回		1h						
	合 計		~30		~30											

R回数：学期中に提出しなければならないレポート数 最低S：学期中に出席しなければならないスクーリングの最低時間数

■印：スクーリング5hからスポーツ観戦レポート(スクーリング免除)1hを差し引いた時数 ※印：半期完結科目 ★印：学校設定科目。